

第6学年 社会科の実践

1 単元名 キャッチフレーズで江戸の文化を伝えよう

教材名 「町人の文化と新しい学問」 (東京書籍6年上)

2 単元の目標

- 歌舞伎や浮世絵, 国学や蘭学とそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産に関心をもち, 進んで調べようとしている。 【関心・意欲・態度】
- ◎ 歌舞伎や浮世絵, 国学や蘭学とそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産について調べ, 社会が安定するにつれて町人の文化が栄え, 新しい学問が起こったこと, それらにかかわる人物の願いや働き, 代表的な文化遺産の意味を考え, 言語などで適切に表現できる。 【思考・判断・表現】
- 歌舞伎や浮世絵, 国学や蘭学とそれにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産から学習課題を見だし, 文化財や年表, 伝統文化を受け継ぐ人の話, 博物館, その他の資料を活用して調べたことをまとめることができる。 【観察・資料活用の技能】
- 歌舞伎や浮世絵, 国学や蘭学とそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産について調べ, 社会が安定するにつれて町人の文化が栄え, 新しい学問が起こったこと, それらが新しい時代への動きに影響を与えたことがわかる。 【知識・理解】

3 付けたい力と言語活動

本単元にかかわる目標及び内容等は次のとおりである。

目標(3) 社会的事象を具体的に調査するとともに, 地図や地球儀, 年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し, 社会的事象の意味をより広い視野から考える力, 調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

内容(1) 我が国の歴史上の主な事象について, 人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財, 資料など活用して調べ, 歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに, 自分たちの生活の歴史的背景, 我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。力「歌舞伎や浮世絵, 国学や蘭学について調べ, 町人の文化が栄え新しい学問が起こったことが分かること」である。

本単元では, 調べたことを表現する力に加えて, 考えたことを表現する力の育成を目指す。そこで単元のまとめでは, 「キャッチフレーズで江戸の文化を伝える」言語活動を設定した。考えたことを表現するキャッチフレーズづくりの時, 児童が納得したキャッチフレーズをつくることができるようにするには, 江戸の文化や学問を盛んにした人物の生き方や業績に対する自分の考えをグループの中で積極的に伝え合うことが重要になると考える。また, 話し合いの充実が考えたことを表現する力の育成になると考えている。

4 司書教諭と学校司書とのかかわりについて

- ・ 調べ学習に使う図書の収集・・・事前(学校司書)
- ・ 目的の本を探す支援・・・第1時(学校司書)
- ・ 学習の見通しをもつプレゼンテーション打ち合わせ・・・第1時(司書教諭)
- ・ 情報カードの活用打ち合わせ・・・第2時(司書教諭)

5 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の 技能・表現	社会的事象につい ての知識・理解
歌舞伎や浮世絵、 国学や蘭学とそ れらにかかわる 人物の働きや代 表的な文化遺産 に関心を持ち、進 んで調べようと している。	歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学とそ れらにかかわる人物の働きや代 表的な文化遺産について、学習問 題や予想、学習計画を考え表現す るとともに、社会が安定すること につれて町人の文化が栄え、新し い学問が起こったこと、それらが 新しい時代への働きに影響を与 えたことや、それらにかかわる人 物の願いや働き、代表的な文化遺 産などについて思考・判断したこ とを、言語などで適切に表現して いる。	歌舞伎や浮世絵、国学 や蘭学とそれらにか かわる人物の働きや 代表的な文化遺産 について、文化財や年 表、伝統文化を受け継 ぐ人の話、博物館、そ の他の資料を活用し て必要な情報を集め て読み取り、年表や作 品などにまとめている。	社会が安定するに つれて町人の文化 が栄え、新しい学問 が起こったこと、そ れらが新しい時代 への働きに影響を 与えたことがわか っている。

6 単元指導計画と評価計画（全7時間）

次	時	目標	主な学習活動	評 価				
				関	思	技	知	評価規準（評価方法）
並 行 読 書	1	・江戸のまちのさまざ まな場面から、この当 時の社会の様子につ いて気づいたことを 話し合うことができ る。	○学習の見通しを立て る。 ○調べ学習の仕方につ いて確認をする。 ○江戸の町の様子の絵 図を見て、江戸の文化に 関心をもつ。	○				・絵図を見て、江戸の 文化や社会の様子に ついて関心をもつこ とができる。 (発言・ノート)
	2	・歌舞伎は人々の間に どのようにして広が っていったのか考え ることができる。	○歌舞伎について調べ、 その広がりについて考 える。		○	○		・町人の文化が栄えた ことを表現している。 (ノート等)
	3	・浮世絵は人々の間に どのようにして広が っていったのか考え ることができる。	○浮世絵について調べ、 その広がりについて考 える。		○	○		・町人の文化が多く の人々や地方に広が ったことを表現して いる。(ノート等)
	4	・国学や蘭学は、どの ような学問なのか、理 解することができる。	○新しい学問が起こっ た様子を調べる。				○	・新たな学問について 理解している。 (発言・ノート)
	5	・国学や蘭学は、社会 にどのような影響を 与えたのか考えるこ とができる。	○国学や蘭学の特色に ついて調べ、それらが社 会へ与えた影響につ いて考える。		○			・新たな学問が社会へ 与えた影響について 考えている。 (発言・ノート)
	6	・新しい時代に向け	○資料をもとに、社会の		○			改革を求める動きに



		て、どのような動きが現れてきたのか、考えることができる。	変化や幕府の行き詰まりについて考える。				について考えている。 (発言・ノート)
三	7	・キャッチフレーズで江戸の文化を伝えることができる。	○江戸の文化についてキャッチフレーズをつくる。		○		・文化や学問が社会に与えた影響について考えたことを、作品に適切に表現している。 (発言・短冊)

7 本時の学習 (第3次1時間目)

(1) ねらい

- 江戸の文化を伝えるために、江戸の文化や学問が社会に与えた影響について考え、キャッチフレーズに表現することができる。 【思考・判断・表現】

(2) 展開

	学習活動 予想される児童の反応	教師の支援	評価 (評価方法)
導入	1, 学習のめあて・流れを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">キャッチフレーズで江戸の文化を伝えよう。</div>	○意欲的に学習に取り組むことができるように、学習のめあてを確認する。 ○学習の見通しをもつことができるように、本時の学習の流れを確認する。	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">江戸時代を代表する文化は何か、一つ選ぼう。</div> <p>2, 江戸時代を代表する文化を、今まで学んできたことを生かして個人で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安く手に入り、民衆の生活に広がっていった浮世絵。 ・今のアイドルのライブのように、民衆が楽しみにしていた歌舞伎。 ・現在の医学の原点になった蘭学。 ・江戸の社会や政治に大きな影響を与えた国学。 <p>3, グループで江戸の文化に対する意見を発表し、考えを深め合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民衆が生活を楽しむことができるようになったから、浮世絵。 ・そういう意味なら、歌舞伎だって 	○個人思考の時間が十分に確保できるように、児童一人一人が事前に代表する文化を一つ決めておく。 ○児童が考えをもてるように、情報カードやノートを活用することを伝える。 ○後のグループ討論で、互いの考えが共有できるように個人の考えを付箋に簡単に記すようにする。 ○自分の考えをもつことができない児童に対しては、今までの学習で活用した情報カードやノートをヒントにして、自分の気に入る文化と一緒に考えていく。 ○グループの子ども同士が互いの考えを共有できるように、付箋の他にも情報カードやノートを提示しながら説明してもよいことを伝える。	・文化や学問が社会に与えた影響について考えている。 (発言・情報カード、ノート)

	<p>そうだよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今現在、私たちが健康でいられるのは、蘭学おかげだよ。 ・社会や政治に大きな影響を与えたから、今の時代があると思う。だから国学。 <p>4, 討論したことを生かし、グループごとにキャッチフレーズで江戸の文化を表す。</p>	<p>○グループ討論で出し合った児童の考え(言葉)がキャッチフレーズづくりに生かせるように情報カードやノートの重要な言葉に赤印をつけることを伝える。</p> <p>○持論を練り直すために、討論途中で、同じ文化を選んだ子ども同士で集まり、話し合う時間を設ける。</p> <p>○児童の考えが全体で共有できるように、グループでキャッチフレーズを短冊に書き、提示できるようにする。</p>	<p>・文化や学問が社会に与えた影響について考えたことを、作品に適切に表現している。</p> <p>(発言・短冊)</p>
まとめ	5, 本時を振り返る。	○本時の学習を振り返り、次の単元への意欲を高めることができるようにする。	

(3) 本時の具体的な評価

	十分に満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への支援と指導の手立て
社会的な思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸の文化や学問が社会に与えた影響について考え、積極的に交流している。 ・江戸の文化や学問が社会に与えた影響について、積極的に交流し、考えたことを作品に適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸の文化や学問が社会に与えた影響について考えている。 ・江戸の文化や学問が社会に与えた影響について考えたことを作品に適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸の文化の特徴について、児童と一緒に確認をし、作品に表現し易いものを選ぶ。

(4) 授業研究の視点

- 「江戸時代を代表する文化は何か」という論題で、グループごとに児童が討論を行う場を設定したことは、自己の考えを深めるのに有効であったか。